

3つのミッション

・国や地方公共団体等は、今後、「現場のための正確な情報の把握・蓄積」「国民の理解と支援を得るための情報の見える化」「メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化」の、社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションを推進
 ・特に重要な情報については、施設の点検が一巡する最初の5年間に、国・都道府県・市町村等の全ての施設管理者が協力し確実に施策を実施

ミッション1：現場のための正確な情報の把握・蓄積

意義

○科学的かつ合理的なメンテナンスの実施 ○施設管理者による主体的かつ積極的なメンテナンスの実施

留意事項

・職員の負担、費用の増加への対応
 ・市町村等の人員不足への支援

①施設台帳等の確実な整備

・施設台帳等の整備・更新を確実に実施
 ・施設の点検結果、健全性の評価等の情報について施設台帳等に記録（標準書式の整備）

②点検結果等の記録の徹底

・点検結果等の正確な記録の徹底
 ・維持管理情報の充実・蓄積

③データ入力様式の標準化

・標準様式の作成など施設分野ごとにデータ入力省力化・標準化を推進
 ・点検業者等による点検結果の入力等を推進

④社会資本情報の集約化・電子化

・維持管理に関する情報を集約しデータベースを作成、二次利用可能な形式で電子化

⑤社会資本情報プラットフォームの構築

・各分野のデータベースから必要な基本情報や維持管理情報を収集・集計整理し、横並びで閲覧・検索

ミッション2：国民の理解と支援を得るための情報の見える化

国民

意義

○社会資本の現状・課題等の周知、国民の支持・支援
 ○健全性が著しく低い施設、対応措置等の情報提供、事故・災害リスクの低減
 ○施設の転用・統廃合・除却、費用負担等への理解・協力
 ○施設の適正利用の促進
 ○施設点検等への自主参加の促進
 ○行政の取組状況の確認、住民との信頼構築

留意事項

・テロや犯罪などを誘発する可能性のある情報の選別
 ・情報セキュリティ対策

情報公開・理解促進

①施設の健全性等の集計情報の公表

・健全性等の現状を施設分野ごとに公表
 ・国・地方公共団体等別にわかりやすく公表
 （点検実施率、健全性の評価別施設割合）
 （要対策老朽施設化リスト など）
 ・学術団体等による評価の取り組みへの協力

②個別施設の点検結果等の公表

・施設名、所在地、建設年度 など
 ・点検実施年度（最新）、健全性の評価 など

③インフラメンテナンス情報ポータルサイトの開設

・国、地方公共団体等の様々な情報を公表
 （転用・統廃合・除却事例、劣化、崩落事例など）

④地域住民との協働による点検等の実施

・地域住民等との協働による点検、美化活動等
 ・地域住民等からの提供情報の受取体制構築

ミッション3：メンテナンスサイクルを着実に回すための情報の共有化

国・地方公共団体等

意義

■国や地方公共団体等の施設管理者
 ○維持管理レベルの確認（自己診断の実施）
 ○目標設定、達成状況確認
 ○職員等のスキルアップ
 ○危機意識を促す
 ■指導的役割を担う国や都道府県
 ○点検状況等のモニタリング
 ○市町村への助言・指導
 ○戦略的マネジメントの推進
 ○市町村支援への活用

留意事項

・記載方法等の統一化
 ・システム間の連携 など

メンテナンスの確実な実施

①施設情報の階層化

・国が全施設共有化すべき重要情報
 ・施設管理者が取得すべき情報

②進捗状況・管理指標の共有

・全国的な傾向・ベンチマーク分析

③最新の技術関連情報の共有

・技術開発の状況
 ・維持管理研修等の実施状況 など

④メンテナンスに関する会議の設置・活用

・施設管理者がデータ共有・進捗管理

⑤施設の設計・施工等の情報との連携

・新設時の情報との連携（CIMなど）

民間企業・大学等の研究機関

意義

○効率的なメンテナンスの実現
 ○メンテナンス技術の高度化
 ○民間主導による研究技術開発促進
 ○メンテナンス産業発展への貢献

研究・技術開発促進

⑥研究・技術開発と連携したデータの提供

・研究・技術開発に有用なデータ提供
 ・公開可能な情報のデータカタログを作成
 ・目的等の明確化、結果のフィードバック

⑦相談窓口の設置

・研究・技術開発に資するデータ提供に関する相談窓口を設置

留意事項

・データ流出への対応
 ・損害賠償への対応 など

・※情報の共有にあたっては「一般向け」「施設管理者向け」「研究者向け」などアクセス対象者を設定

施策の実現に向け併せて実施すべき事項

①国・都道府県等による市町村支援の実施
 ③インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設置

②取り組み状況等の見える化
 ④インフラメンテナンスに関する表彰制度の創設

社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進策(案) 最初の5年間で確実に実施すべき施策(案)

- 点検が一巡し、全国レベルで施設の健全性が明らかになる最初の5年間で「**インフラ情報重点化5箇年**」と位置づける。
- ①国、都道府県、市町村等の全てのインフラの管理者が協力し、特に重要な項目について、全国的に情報の集約化を図る。
- ②健全性の低い施設については、補修・修繕など必要な対応を図るとともに、国民に対し情報の公表を進める。
- ③自ら管理する施設の維持管理レベルの確認など自己診断を行い、施設の老朽化対策を確実に実施する。

見える化での公表のイメージ

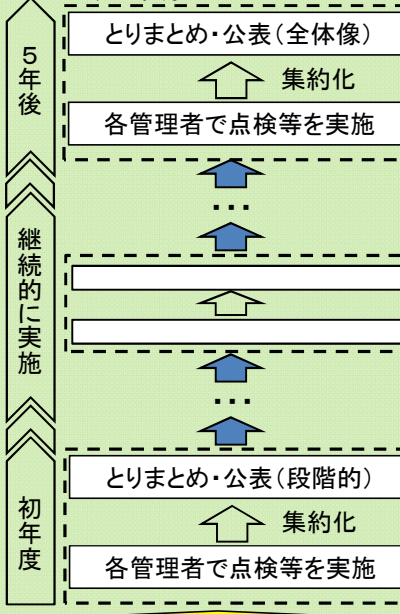
初年度から着手

継続的に実施

5年後には全体像が明らかとなる(毎年可能な範囲で実施)

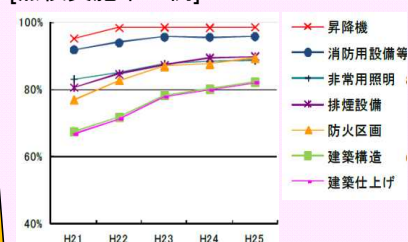
国民向け

○施設の状況、点検実施状況、点検結果等を段階的にとりまとめ、公表。



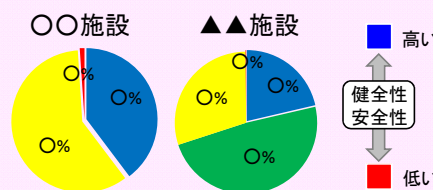
○施設の点検実施状況・点検結果を、集計してとりまとめ、公表

[点検実施率の例]



▲国家機関の建築物等の保全の現況(平成26年3月)

[施設毎の点検結果集計のイメージ]



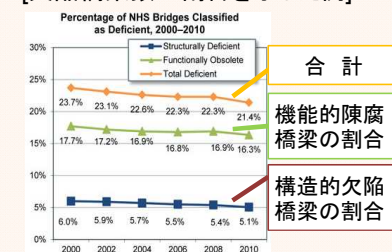
○健全性の低い施設等については地図上に表示等により公表

[健全性の低い施設の地図上表示例]



▲連邦交通省統計局HP <http://gis.rita.dot.gov/DBridges/>

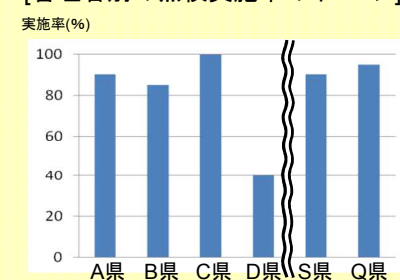
[欠陥橋梁数の割合を示した例]



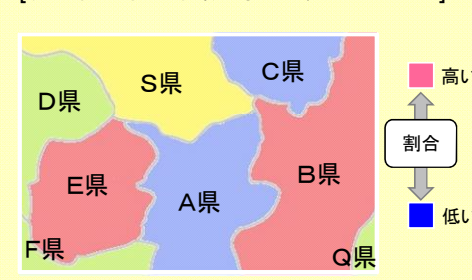
▲FHWA,HP <http://www.fhwa.dot.gov/policy/2013cpr/>

○管理者別で維持管理状況を明確化し公表

[管理者別の点検実施率のイメージ]



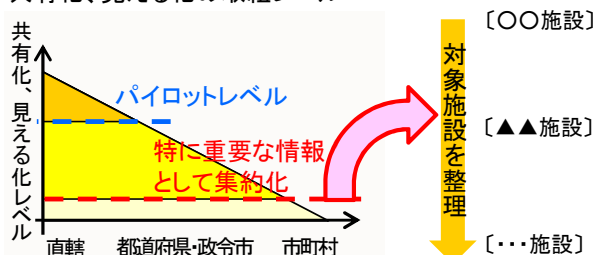
[健全性の低い施設割合の表示イメージ]



集約化を図る情報のイメージ

○施設の健全性等の分析を行うことを目的に、特に重要な項目について、施設の**基本情報・健全性等の情報**の集約化を図る

共有化、見える化の取組レベル



施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理

〔○○施設〕		施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理					
基本情報			健全性等の情報				
施設名	管理者名	所在地	...	点検実施年
○○○○	○○県	○○県○○郡	...	H○			
...				
〔▲▲施設〕		施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理					
基本情報			健全性等の情報				
施設名	管理者名	所在地	...	点検実施年	健全度評価
▲▲▲▲	▲▲町	▲▲県▲▲町	...	H▲	▲		
...				
〔...施設〕		施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理					

国・地公体等向け